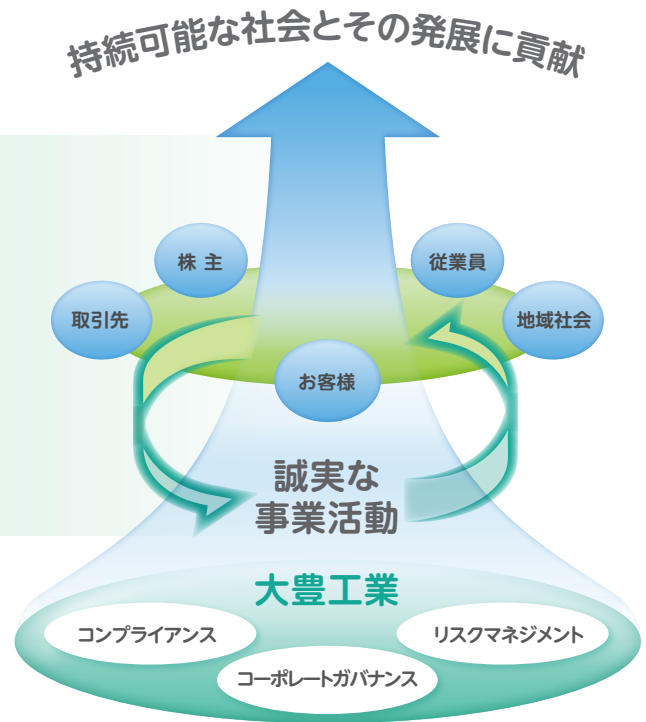


グローバルな企業活動を通じて、 企業としての使命を果たすことで 「持続可能な社会とその発展に貢献する」

●CSR方針

私たちは、グローバルな企業活動を通じて企業としての「使命」を果たし、持続可能な社会とその発展に貢献します。
その実現のために、株主、お客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーと健全な関係を築き、お客様に満足していただける製品を提供することにより、豊かな社会の実現を目指します。
また、国内外・国際的な法令ならびにそれらの精神を遵守し、社会的良識をもって誠実、公正、透明な事業活動を行います。
私たちは、これらの実現が自らの役割であることを認識した上で、企業が負う責任を果たし、社会に信頼される企業であり続けます。

当社のCSRは、**コーポレートガバナンス**、**コンプライアンス**、**リスクマネジメント**の3つを基盤とし、ステークホルダーの皆様に対し、誠実な事業活動を通じて対話に努めます。



●TTRF財団(研究助成)

世界のアカデミアに貢献

大豊工業トライボロジー研究財団(Taiho Kogyo Tribology Research Foundation)は、米国イリノイ州に財団本部があり、全世界的な活動を展開しています。当社がトライボロジー研究及び開発に関する助成や、若手トライボロジストへの助成などを目的として、2000年10月に設立した財団です。

TTRF-TAIHO 第2回 国際シンポジウム International Symposium on Automotive Tribology 2017

2017年4月19日、名古屋国際会議場でTTRFと共催で第2回国際シンポジウムを開催し、当日は約160名の国内外のトライボロジー関係者に来場いただきました。第1回目はトライボロジーを俯瞰的に議論しましたが、今回の第2回目はパワートレインの摩擦低減技術にテーマを絞り、且つ産学両者からの視点で意見交換できるプログラムとしたことで、より活発な討議を行うことができました。今後もTTRFへの支援を通じて、継続的なトライボロジー技術の発展と社会の発展に貢献します。



第2回 国際シンポジウム(名古屋国際会議場)

● 豊田少年少女発明クラブ(社会貢献) 地域の方々との調和

豊田少年少女発明クラブは、豊田市内の小中学生を対象にモノづくりの楽しさと創造の喜びを知ってもらうため、豊田市の企業、政財界の支援のもと1981年に設立されました。当時の当社社長である大塚氏が初代理事長に、現在は4代目理事長として前社長の上田氏が務めています。また、設立当時から現在まで、当社の従業員を指導員として派遣しています。2017年4月、当社施設の一部を、豊田市内4か所目となる「緑ヶ丘教室」として提供しており、より一層の社会貢献に努めています。



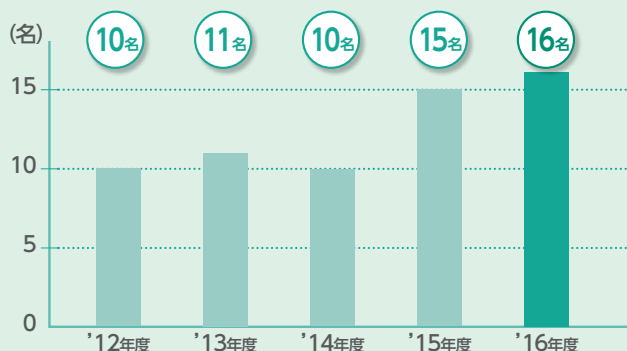
2017年4月 緑ヶ丘教室の開校日



当日の様子

● T-Kids(社内託児所) 従業員への理解・配慮

2016年4月の女性活躍推進法施行に伴い、当社では従来より『次世代育成』の観点から育児支援のための制度の定着などに取り組み、育児休業制度利用者は増加傾向にあります。また、2015年4月にはT-Kids(社内託児所)を開園しました。今後は女性活躍の観点も交え、更なる施策の充実を図って参ります。



育児休業制度の利用者推移



キャベツを使った食育カリキュラム

T-Kidsの利用者の声

現在2歳になった次男を預けています。復職前は、幼い次男を連れて長男を保育園へ送迎するのが大変でした。夫も同じ会社に勤めている為、夫婦で送迎ができる環境となりとても助かっています。また、泣く子どもを預ける時も辛いと感じることもありますが、保育士さんの気遣いもあり安心して会社に向かうことができます。T-Kidsは、衛生面、食育、運動などの環境が整っており、日々、子どもの成長も感じる事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。



第2開発部
後藤 真由美